


# 心理専門職のためのケースマネジメント研修

～支援に役立つアセスメント技術を身につけるために～



【日 時】 2024年2月23日(金・祝) 10:00～17:00

【講 師】 近藤直司 先生(本学名誉教授)

【受講対象】 ①現任者:大正大学大学院臨床心理学専攻の修了生、およびカウンセリング  
研究所修了生で、心理職として治療・教育・相談・指導等にかかわっている方

②大学院生:大正大学大学院臨床心理学専攻の大学院生

※①、②ともに担当ケースの報告が可能な方に限ります

【定 員】 30名(先着順)

【受講料】 現任者 8,000円／大学院生 4,000円

【会 場】 大正大学 5号館 551教室

## <企画趣旨>

まず、対人支援におけるケースのアセスメントを、『一つ一つの情報を自分なりに解釈し、それらを組み立てることによって、生じている問題の成り立ち・メカニズムを明らかにし、支援課題を抽出すること、あるいは、その人がどんな人で、どんな支援を必要としているのかを明らかにすること』と定義しておきたいと思います。

ケースマネジメントの技術を高めるためには、インテイク(情報の収集と整理)ーアセスメント(情報・エピソードの評価と支援課題の抽出)ープランニング(支援計画の策定)という作業過程、とくに、「情報・エピソード」と「評価・アセスメント」との違いを明確に意識することが決定的に重要です。また、『生物ー心理ー社会モデル』を使いこなすことによって、包括的でバランスのよいアセスメント技術が身に付くと思います。

本研修の到達目標は、①ケースマネジメントのためのフォーマットを作成できるようになる、②日常業務におけるケースのレポートと記録をスキルアップにつなげる方法を理解する、③ケース検討会議の質を高めるための技術を理解する、という三点です。守秘性には十分に配慮しますので、ご自身の担当ケースをレポートできる方に受講していただきたいと思います。また、研修当日までに事前課題があります。アセスメント技術を高めたい方、ケース検討会議の進め方に迷っている方、後進の指導やチームのレベルアップについて考えてみたい方にお勧めします。

(文責:近藤 直司)

## <参考図書>

近藤直司:アセスメント技術を高めるハンドブック 第3版(明石書店、2022)

## 【プログラム】

時間	形式	テーマ
10:00~10:30	講義	生物・心理・社会モデルとフォーマット作成の留意事項
10:40~11:10	個人ワーク	フォーマットの修正
11:10~12:00	グループワーク	アイスブレイク、5分レポート(前半3セッション)
12:00~13:00	昼休み	
13:00~13:45	グループワーク	5分レポート(後半3セッション)の振り返り
13:45~14:15	—	質疑応答・意見交換
14:30~15:00	講義	ケース検討会議の進め方
15:00~16:00	グループワーク	ケース検討会議
16:15~16:30	グループワーク	ケース検討会議の振り返り
16:30~17:00	—	質疑応答・意見交換・アンケート

## 【申込方法】

以下のフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/9aTzad4RozCun39V6>



**申込締切: 2024年1月10日(水)**

- \* 先着順。定員になり次第締め切ります。
- \* ご参加が確定した方には、1月末日までに事前課題をお送りします。
- \* 本研修は、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修委員会規程別項第2条(4)」によるワークショップ型研修会ポイント申請予定です。

## 【お問い合わせ】

大正大学カウンセリング研究所  
〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1  
TEL:03(5394)3035/FAX:03(5394)3041  
Mail:cou-moushikomi@mail.tais.ac.jp